

学会ニュース

1. 第9回年次大会（2019年9月5～6日）報告
2. 部会（2019年12月～2020年5月）報告
3. 第10回年次大会（2021年9月）案内

1. 第9回年次大会（2019年9月5～6日）報告

- ・日 程 2019年9月5日（木）～6日（金）
- ・場 所 早稲田大学早稲田キャンパス 14号館4階
- ・主 催 企業と社会フォーラム
- ・協 力 B Corp Asia, 凸版印刷
- ・本大会プログラム委員会

福川恭子（一橋大学大学院教授）

Schmidpeter, René (Professor, Cologne Business School, Germany)

谷本寛治（早稲田大学教授）

- ・テ ー マ 「サステナビリティ人材の育成と経営教育」

過去20年間においてCSRは重要な経営課題、そして研究・教育課題として広がり、新しいマインドセットをもった研究者や実務家の育成が求められています。サステナビリティという概念は、ビジネス界においてますます重要になってきているにもかかわらず、企業がグローバルな社会的課題に取り組むことには無理があると長らく考えられてきました。しかしながら、今やビジネスやNGOの現場において、サステナビリティ・マインドをもった人材の育成が求められています。サステナビリティは経営のあり方や教育に新しいビジョンを提示していくポテンシャルを秘めており、従来のマネジメントスキルの教育にとどまらず、幅広く社会との議論を行っていくことが期待されています。CSR、サステナビリティの課題に取り組んでいくには、現代の複雑な課題や議論にトータルにアプローチする視点が求められています。サステナビリティへの関心の高まりは、大学・ビジネススクールに実務界から責任あるリーダーシップと高い倫理意識をもった卒業生を育てることが期待されています。ビジネス教育の国際認証AACSBでは、今や各ビジネススクールにその教育・研究においてCSR関連の課題に取り組むことを求めています。ただこれらのことは日本ではまだまだあまり理解されていません。CSR/サステナビリティ教育は、大学と企業、国際機関、NGOなどが協力しながら取り組まれ、ローカル/グローバルな課題の解決に貢献していく人材を育成していくことが期待されています。

2019年JFBS年次大会では、大学や現場におけるこれまでとこれからの議論や事例をもとに、CSRやサステナビリティ経営教育を取り巻く問題や新しい可能性について多様な観点から議論しました。

・プログラム

<大会1日目：2019年9月5日>

10:30-11:30	JFBS 理事会
11:30-12:00	JFBS 総会
12:00-13:00	受付
13:00-13:10	Opening Remarks ・ Kanji Tanimoto (Waseda University, Japan / Japan Forum of Business and Society)
13:10-14:40	Keynote Speech ・ Toshio Arima (Global Compact Network Japan, Japan) "Business and SDGs" ・ Elisabeth Fröhlich (Cologne Business School, Germany) "The Necessity of Sustainability in Management Education" 【Chair】 Kanji Tanimoto (Waseda University, Japan)
14:40-14:50	コーヒープレイク
14:50-16:15	Plenary Session 1 "CSR/Sustainability in Management Education" ・ Toshio Arima (Global Compact Network Japan, Japan) ・ Elisabeth Fröhlich (Cologne Business School, Germany) ・ Takayuki Kitajima (Unilever Japan Holdings, Japan) ・ Michele John (Curtin University, Australia) 【Chair】 Kyoko Fukukawa (Hitotsubashi University, Japan)
16:15-16:30	コーヒープレイク
16:30-18:00	Breakout Session Organized 1 「企業における『ビジネスと人権』教育・研修の課題」 ・ 菊池浩 (法務省) ・ 齊藤誠 (ビジネスと人権ロイヤーズネットワーク) ・ 杉本茂 (ANA ホールディングス) 【司会】 足達英一郎 (日本総合研究所)
	Session 1 (CFP) "Sustainability in Management Education 1" 1. Alicia SM Leung and Yu Ha Cheung (Hong Kong Baptist University, Hong Kong) "Designing an Integrative Sustainability Management Curriculum" 2. Miriam Garvi (National Taiwan University, Taiwan) Ariana Chang (Fu Jen Catholic University, Taiwan) Corey Lien (B Lab Taiwan, Taiwan) "B Corps in the Classroom-Approaches to Responsible Management Education in Taiwan" 【Chair】 Michele John (Curtin University, Australia)
	Session 2 (CFP) Organized by B Corp Asia 1. Nirawat Thammajak (Suranaree University of Technology, Thailand) "The Role of Science and Innovation Park in Promoting University's Social Responsibility" 2. Supree Baosingsauy (Charoen Pokphand for Rural Lives' Development Foundation, Thailand) "Social Enterprise Practice Integrated to Community Development Through School Lunch Project & Local Store/Market Move to Community-Based Tourism (Social

	Business)" 3. Sirikul Laukaikul (Sustainable Brand Bangkok, Thailand) "Sufficiency Economy and Sustainable Brand" 4. Trin Thananusak (Mahidol University, Thailand) "Sustainability in Management Education: The Case of College of Management, Mahidol University and The Collaborations with External Bodies"
	Session 3 (CFP) Doctoral Workshop 1. 吉田賢一 (早稲田大学) 「企業不祥事 (リコール) 後の市場の反応: CSR 活動が与える影響」 2. Nathania A. Chua, Josep F. Mària and Ignasi L. Martí (ESADE, Universitat Ramon Llull, Spain) "Transformative Experiences in Service-Learning" 3. Miho Murashima (Waseda University, Japan) "Does Corporate Social Responsibility Raise Investors' Assessment of a Firm and Its Value in Japan?" 【Mentor】 Elisabeth Fröhlich (Cologne Business School, Germany) Kyoko Fukukawa (Hitotsubashi University, Japan) Kanji Tanimoto (Waseda University, Japan)
18:00-18:30	休憩・移動
18:30-20:00	交流会 (於早稲田キャンパス・レストラン「森の風」)

<大会2日目: 2019年9月6日>

9:00-10:30	Breakout Session Organized 2 "Sustainability Leadership Training" ・ Gefe Yin (GoldenBee Corporate Social Responsibility Consulting, China) ・ Masahiro Okada (Keio University, Japan) ・ Tomoko Hasegawa (Keidanren, Japan Business Federation, Japan) 【Chair】 Masao Seki (Sompo Japan Nipponkoa Insurance, Japan)
	Session4 (CFP) 「日本企業の CSR 経営」 1. 森翔人 (The Global Alliance for Sustainable Supply Chain) 土肥将敦 (法政大学) 「持続可能なサプライチェーンの構築に向けて—労働者へのエンパワメントを通じた新たなモニタリングモデルの提案—」 2. 芳賀和恵 (文京学院大学) 「高齢化社会における人材教育の課題: 企業の人材教育と大学の生涯教育の補完的関係の可能性の検討」 3. 池内博一 (追手門学院大学) 「従業員の不適切行為と企業の事前・事後対策—従業員に対する法的責任追及と従業員教育—」 【司会】 古村公久 (京都産業大学)
	Session 5 (CFP) Part 1 B Corp Special Session: Global B Corp Movement and Asia Development "Using Business as a Force for Good, unleash the DNA within" ・ Ariana Chang (Fu Jen Catholic University, Taiwan) ・ Corey Lien (B Corp Asia)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Ken Ito (Asian Venture Philanthropy Network) ・ Sakulthip Keeratiphantawong (NISE Corporation / B Corp Thailand)
10:30-10:50	コーヒープレイク
10:50-12:20	<p>Breakout Session Organized 3 “Higher Education for Sustainability”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Akiko Imai (Showa Women's University, Japan) ・ Joel Malen (Waseda University, Japan) ・ Philip Sugai (Doshisha University, Japan) ・ Yoshiteru Uramoto (Sophia University, Japan) <p>【Chair】 Hiroshi Amemiya (Arabesque S-Ray GmbH Japan branch, Japan)</p>
	<p>Session 5 (CFP) Part 2 B Corp Special Session: Global B Corp Movement and Asia Development ditto</p>
	<p>Session 6 (CFP) “Sustainability in Management Education 2”</p> <p>1. ABM Shahidul Islam and Jahan Ruma Akhtar Shirin (Center for Promoting Global Education, Bangladesh) Forhad Hossain (LBS Management Consultancy, Bangladesh) "Study on Adaptation of Corporate Social Responsibility in Academic Education in Bangladesh"</p> <p>2. Michele John, Samad Suleman and Adriel Ichawat (Curtin University, Australia) "Sustainability in Engineering Education in Australia-Challenges and Learnings"</p> <p>【Chair】 Chi-Jui Huang (National Taipei University, Taiwan)</p>
12:20-13:20	昼食
13:20-14:50	<p>Breakout Session Organized 4 「サステナビリティ人材の育成におけるメディアの役割」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木幡美子 (フジテレビジョン) ・ 倉持裕和 (朝日新聞社) ・ 堅達京子 (NHK エンタープライズ) <p>【司会】 牛島慶一 (EY 新日本有限責任監査法人)</p>
	<p>Session 7 (CFP) “CSR Management 1”</p> <p>1. Chi-Jui Huang and Wen-Chyan Ke (National Taipei University, Taiwan) Meng Ju Kao (National Taiwan University, Taiwan) "Does Materiality of CSR Matter for Financial Performance?"</p> <p>2. Sung-Min Lin (National Chung-Hsing University, Taiwan) Yen-Ching Liu (National Yunlin University of Science and Technology, Taiwan) "Challenges of Middle Managers in Embedding CSR into Therapeutic Industry-An Illustration of Managerial Strategies based on the Leadership Theory, and Distributed Theory in the Process of Coordinating Investigational New Drug Development"</p> <p>【Chair】 Megumi Suto (Waseda University, Japan)</p>
	<p>Session 8 (CFP) “CSR Management 2”</p> <p>1. Meng-Ying Tsai (Zhaoqing University, China) Wan-Chi Hsu (Lee-Ming Institute of Technology, Taiwan) "Corporate Social Responsibility Perception, Job Satisfaction and Organization Commitment: Evidence from Five-Star Hotel in China"</p> <p>2. Retna Rehajeng (Soka University, Japan)</p>

	"CSR Management Practice in an Asian Developing Countries: Indonesian Case" 【Chair】 Joel Malen (Waseda University, Japan)
14:50-15:10	休憩
15:10-16:30	Plenary Session 2 “Wrap-up Session: CSR/Sustainability in Management Education” ・ Masao Seki (Sompo Japan Nipponkoa Insurance, Japan) ・ Hiroshi Amemiya (Arabesque S-Ray GmbH Japan branch, Japan) ・ Keiichi Ushijima (Ernst & Young ShinNihon, Japan) 【Chair】 Kyoko Fukukawa (Hitotsubashi University, Japan)
16:30-16:40	Closing Remarks ・ Kanji Tanimoto (Waseda University, Japan / Japan Forum of Business and Society)
16:40-18:00	フェアウエルドリンク

2. 部会報告

第30回東日本部会

- ・日 時 2019年12月14日(土) 13:30~17:00
- ・場 所 早稲田大学早稲田キャンパス 11号館 8階 803教室
- ・テーマ・報告者等

(1) NGO キャンペーンと市場へのインパクト

【報告者】小野美和氏(立教大学ビジネスデザイン研究科(院))

(2) サーキュラーエコノミーへ向けて—企業実践事例の紹介—

【報告者】今津秀紀氏(凸版印刷トッパンアイデアセンター)

(3) 学界展望

【報告者】谷本寛治教授(早稲田大学商学大学院商学部)

【司 会】谷本寛治教授(早稲田大学商学大学院商学部)

第31回東日本部会

2020年5月23日(土)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

3. 第10回年次大会（2021年9月）案内

- ・日 程 2021年9月初旬
※2020年9月4～5日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期となった。
- ・場 所 早稲田大学早稲田キャンパス
- ・参加者 JFBS会員および非会員（国内外の学界、産業界、労働界、NPO/NGO、学生など）
- ・テーマ 「サーキュラーエコノミーを目指して」

生産—消費—廃棄、これは伝統的な産業モデルであり、これまでほとんどのビジネスはこのモデルで行われてきました。しかしこの直線的なモデルはもはや持続可能ではありません。Ellen MacArthur Foundationなどは、資源やエネルギー消費と経済成長を切り離し、実行可能で再生可能な循環型経済（サーキュラーエコノミー）を提唱しています。サーキュラーエコノミーでは、廃棄物となったものが他のバリューチェーンの資源となること、生産から消費そして廃棄に至るまでの商品ライフサイクルのすべての段階で、いま使われているものを最大限利用していこうとしています。

サーキュラーエコノミーのビジネスモデルに関する文献では、廃棄物のリサイクル戦略（循環をつくる）や商品寿命を伸ばすためのエコ開発（循環のスピードを緩める）が多く論じられてきました。また高い耐久性による消費サイクルの長期化、所有に代わって必要な時に利用することや、デジタルプラットフォームを通じた商品の再循環の支援といったシェアリングエコノミーのように、従来とは異なる方法によって循環スピードを緩めることが議論されています。

世界が直面している危機的な気候変動や資源不足のもと、各国では循環型の事業イニシアティブを活性化させ、直線的なモデルを一部の戦略的なものに限定し、サーキュラーエコノミーへ移行することを促す法規制づくりが進められています。

2021年JFBS年次大会では、サーキュラーエコノミーの理論構築に向けた議論を進めていきます。サーキュラーエコノミーはどのように周辺概念やパラダイム、例えばサステナビリティや産業エコロジー（産業における資源やエネルギーの流れ）、パーマカルチャー（持続可能な農業・文化）、シェアリングエコノミーに影響を及ぼすのか？われわれは、サーキュラーエコノミーにかかわるテーマを学際的に考えるとともに、これまでのそしてこれからの議論と具体的な取り組みについて考えていきます。主に以下のようなトピックが挙げられます（但しこの限りではありません）。

1. サーキュラーエコノミーにかかわる政策と戦略。サーキュラーエコノミーへの移行はどのような規制や制度によって可能になるか？どのような公共政策が地域レベル、国家レベル、国際レベルでサーキュラーエコノミーの発展を促すか？企業はどのようにサーキュラーエコノミーの概念を戦略に組み込んでいくのか？
2. サーキュラーエコノミーを促進する企業家精神。サーキュラーエコノミーの分野における企業家精神とは何か？彼らは地域、国家、国際的にどのようにサーキュラーエコノミーに取り組んでいるのか？
3. 新しい消費パターンとサーキュラーエコノミー。サーキュラーエコノミーの発展に向けた消費者の行動やモチベーションについて。
4. 関連テーマとして、サステナブル・ファッション、食品ロス、プラスチック問題への取り組み、シェアリング（車、自転車、場所など）、持続可能な農業、再生可能エネルギー

などについて。

多くの参加者の皆様によって新しい議論が提起されることを期待しています。

- ・企画セッション
- ・廃プラスチック問題への取り組み
- ・食品ロス問題への取り組み
- ・サステナブル・ファッション

最新の詳細プログラムは、学会ウェブサイトを参照ください。

https://j-fbs.jp/annualconf_2021.html

